

根来山げんきの森だより 150号

根来山げんきの森倶楽部
<http://genkinomori.jp/>

げんきの森5月・6月のお知らせ

○マダニにご注意

気温が上がりマダニの活動が活発になっているようです。茂みの中の作業後、「着替えるときに服に付いているのを見つけた」、「内股が痛痒いので見ると血を吸って大きくなったマダニがかみついていた」という話をよく聞きます。

マダニは葉陰に隠れていて、動物の臭いや皮膚から出る炭酸ガスを感じて飛び移ると言われています。口吻を皮膚に差し込み血を吸い大きく膨らみます。



噛みつかれているのを見つけた場合は、無理矢理つまんで引きはがすと、口吻が残りいつまでも痒い症状が続きます。皮膚科で取ってもらうのがいいと言われています。

マダニが媒介する病気にライム病、日本紅斑熱、

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) などが知られています。もし、マダニに咬まれた後、体調不良を感じた場合は、医師に「咬まれた」と伝えて下さい。

○マムシ、ヤマカガシにご注意

ニホンマムシやヤマカガシの目撃情報も増えていきます。できるだけ草藪の中に立ち入らないようにして下さい。

ニホンマムシ：動作は鈍いが、攻撃時は音もなく飛びかかる。毒牙は上あごのいちばん前、左右一本ずつ、毒の主成分は出血毒で、かまれるとひどくしみるような痛みと、かなりの腫れを生じる。

ヤマカガシ：口内のいちばん奥に毒牙を持つ。毒は溶血性の猛毒で、全身の皮下出血や脳内出血、腎不全などを引き起こす。不注意に首をつかむと毒液をとばしてくる。(Outdoor レスキュー・ハンドブックより)

どちらも人がうっかり踏んでしまうとか、つかまえるとかしなければ、危険はありません。発見したら近づかず、ヘビの逃げるのを待って下さい。

かまれた場合は、すぐ病院に行く必要があります。管理棟にお知らせ下さい。

根来山の草木 アクシバ (ツツジ科)



ツツジ科の樹木は痩せ地に耐えられるよう地中の菌類と独特の菌根を作って共生しているため、養分の少ない高山地域まで広がることができました。げんきの森でも痩せた尾根筋を中心に8種類ほどのツツジ科の樹木が見られます。

図鑑では高さ1mほどに育つと書かれていますが、げんきの森のアクシバは地面を這うように枝を伸ばし、ツツジ科8種類中最も小型のツツジ科の樹木です。

漢字で書くと「灰汁柴」。これを燃やして灰汁抜きに使ったからなどと考えられていますが、何の灰汁を抜くのに使ったの

でしょう。

2cmほどの小さな葉には葉柄がほとんどなく、葉が直接緑の枝にくっついているように見えます。同じツツジ科のスノキやウスノキに似ていますが、枝が丸くなくひしゃげているので触ってみると区別できます。

花は梅雨入り前、地面に這いつくばるように探してみると小さいながらも4枚の花びらが反り返り、雄しべが長く突き出た姿の薄紅色の花が咲いているのを見つけることができます。じっくり観察するとその精巧な作りに驚かされます。

手づくりの森の尾根沿いの歩道を歩くと群生地があるので探してみてください。





根来山げんきの森 5月～6月の催し

昆虫調査隊員募集中：基本的に子どもを中心に、その保護者と活動しています。活動日は毎月第2日曜日。昆虫の好きな方は参加してみてください。

倶楽部員募集中：私たちと一緒に、森林公園の整備やいろいろな活動をする仲間を求めています。いつからでも入会できます。

写真(A4)募集中：根来山げんきの森で撮った写真を募集しています。

6/3(土) 自然観察会

草の樹も大活躍、初夏の里山を倶楽部員と観て歩きましょう。

日時：6月3日(土) 13:00～15:00

参加費：200円(小学生以上)

申し込み：当日でも結構です。管理棟へ。



根来山げんきの森倶楽部の活動と催し

- 5月14日(日)10:00～昆虫調査隊
- 17日(水)10:00～里地調査(植物)
- 21日(日)9:30～定例活動
- 27日(土)10:00～竹細工同好会・近大貸山
- 28日(日)10:00～ネイチャーゲーム・土壌生物観察会
- 6月3日(土)13:00～自然観察会
17:00～運営会
- 4日(日)10:00～プレーパーク
- 10日(土)9:00～ボラバイター研修
- 11日(日)10:00～昆虫調査隊
- 13日(火)7:30～公園管理隊(草刈り)
- 14日(水)7:30～ ”
- 18日(日)9:30～定例活動
12:30～第14回定期総会
- 24日(土)10:00～竹細工同好会

それぞれの活動のお問い合わせは事務局または管理棟(Tel&FAX0736-61-7233)まで。火曜定休日
事務局 E-mail : forest-o@ares.eonet.ne.jp

6/4 ふれあいの森プレーパーク

-- 森で遊ぼう -- 毎月第1日曜は「森で遊ぶ日」

初夏、木陰でのんびり遊みましょう。雨が降らないことをテルテル坊主にお願いします。

日時：6月4日(日)10時～15時(受付14時まで)

都合のいいときに来て遊んで下さい。

参加費：一人100円(保険料として)

【植物観察クイズ】

アカメガシワ (トウダイグサ科)

伐採地や空き地に真っ先に生えてくる木です。市街地などでも目にする事の多い木です。

①花を観察しましょう。

雌花と雄花を見つけてみましょう。

②名前の由来を探ってみましょう。

ヒント 枝先の新しい葉を見てください。

③葉にアリが来ていませんか。アリはなにをしているのでしょうか。

【答え】

①雌雄異株ですので、雌花のついているのが雌株、雄花のついている

のが雄株です。花卉は両方ともなく、甘く香ります。

・雌花は3裂(時に4裂)する赤い柱頭が目立ちます。成熟すると黄色くなります。

②枝の先端についている若葉は薄赤色をしています。春先に出る葉は赤みが強いのですがこの時期のものはかなり薄くなっています。先端の葉を指でこすってみてください。すると葉の緑が現われてきます。つまりこの赤は、葉の色ではなく、表面にはえている多数の毛の色なのです。

若葉が赤く、昔はカシワと同じように葉に食物を載せたことが名前の由来です。



③葉の基部に一对の「蜜腺」があります。アリはここから出る蜜をなめにきているのです。